

ごあいさつ



会長

森田 昇



理事長

平岡 浩房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫についてのご理解を一層深めていただくために、「2017 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みなどにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度の日本経済は、アベノミクスの推進等により大手企業を中心に緩やかな回復基調にありましたが、個人消費の低迷や海外経済の不確実性の高まりなどにより、力強さを欠いた状態が続く1年となりました。当金庫の営業エリアである多摩地域、埼玉県南西部におきましても、未だ先行きの不透明感が拭えない状況であります。その一方で、人口構成の変化やIT技術の進展などによってお客さまの多様性は増しており、金融機関に求められるサービスもお客さまのニーズに合った商品をご提案することが必要であると考えています。

このような中、当金庫では「地域の未来を共創する信用金庫」を基本方針として、この地域のお客さまとともに発展することを考え、“積極的な融資”や“社会貢献活動”などを通じて、地域の活性化に向けて取り組んでまいりました。創業支援の取り組みとしては、青梅市、青梅商工会議所と連携し“おうめ創業支援センター”を平成28年4月に開設し、また、10月3日には当金庫で25年ぶりとなる新店舗「小金井支店」を小平支店内に支店内支店として開設いたしました。これらの活動を通じ、貸出金利回りが低下するなど厳しい経営環境ではありましたが、当期純利益は21億円、自己資本比率は10.05%となり、経営基盤の強化を図ることができました。

平成29年度は中期経営計画の最終年度として、地域経済のさらなる発展に貢献し、地域に根差した信用金庫としてお客さまの課題解決に努めてまいります。今後とも、協同組織の地域金融機関として地域のお客さまとともに新たな価値を創造し、創業の精神である“共存同栄”の実現に向けてこれまで以上に地域の活性化に取り組んでいく所存でございます。

より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成29年7月



企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、産業の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かな暮らしの実現を目指し、あおしんがお客さまに対してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまり青梅信用金庫を取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

平成28年度は、「地域との共生」をテーマとした中期経営計画の2年目として、「地域の未来を共創する信用金庫」の基本方針のもと、“積極的な融資”や“社会貢献活動”などを通じて地域社会の持続的な発展に努めてまいりました。

今後も地域のお客さまの豊かな暮らしの実現や産業の発展に貢献することを第一に考え、地域の活性化を推進してまいります。

重点課題

1. 地域活性化の推進
2. 持続性ある経営基盤の確立
3. 人間力の向上

経営目標

	経営目標(29年度末)	実績
自己資本比率	10.00%	10.05%
不良債権比率	4%台(4.99%)	4.68%
当期純利益	15億円	21億円

経営の基本
1

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
2~11

平成28年度のトピックス
12

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
13

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
14~15

会員の意見を反映する総代会
16~17

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
18~19

平成28年度 業績のご報告
20~25

主な業務のご案内
26~31

店舗ネットワーク
32~33

金庫の概況と組織に関する事項
34

資料編/財務諸表
35~49

資料編/連結情報
50~54

資料編/自己資本の充実の状況
55~67

開示項目一覧
68

沿革
69